

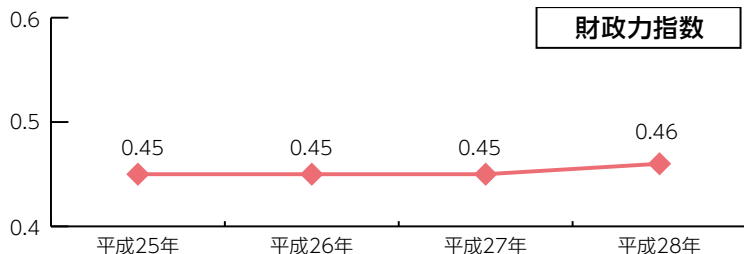
特別会計

(単位:千円、%)

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	21,993,571	21,569,182	98.1	21,611,681	98.3
介護保険	9,489,085	9,359,037	98.6	9,162,585	96.6
公共下水道事業	2,752,453	2,578,889	93.7	2,516,647	91.4
農業集落排水事業	19,058	19,145	100.5	18,514	97.1
後期高齢者医療	894,185	898,694	100.5	893,086	99.9
合計	35,148,352	34,424,947	—	34,202,513	—

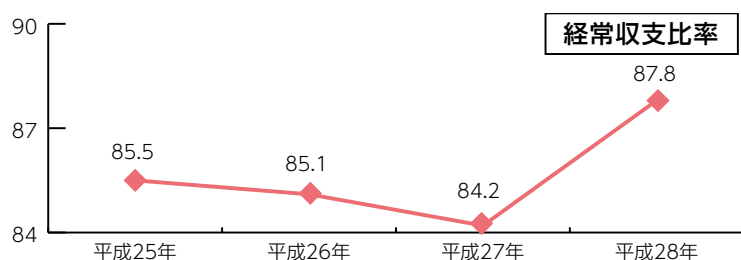


うるま市の財政指標推移



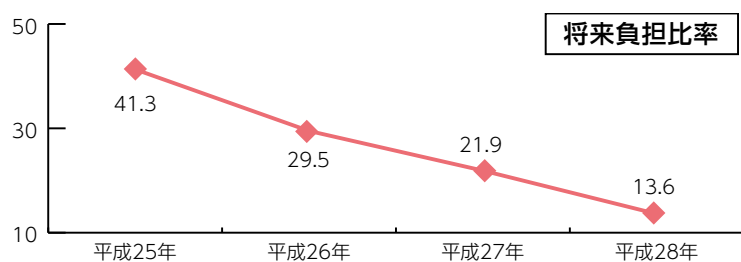
行政サービスを行うために必要な経費をどの程度自力調達できているのか、財政力の強弱を示す割合で過去3年の平均値で示します。

1に近いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い団体ということになります。



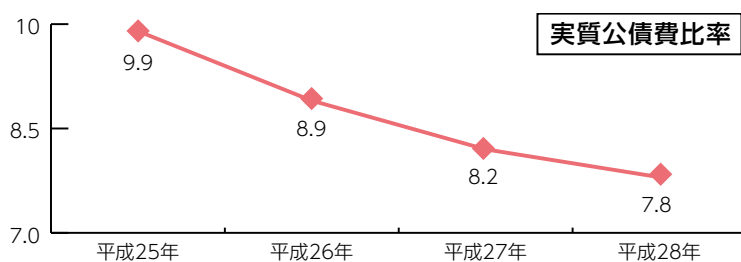
毎年度、経常的に入ってくるお金が臨時的な支出を除いて、どのくらい経常的経費(人件費、扶助費および公債費など)に使われているのかを示す割合となっています。

この割合が高いほど、市が自由に使うことができるお金が少ないこととなります。



将来負担比率とは、借金や今後支出が見込まれる費用などのように将来負担しなければいけない費用が、1年間の収入に対してどのくらいあるのか、将来の負担が大きすぎないかを判断するために国が定めた基準です。

この割合が35%を超えると黄色信号が出されることとなります。



実質公債費比率とは、1年間の収入に対して借金の返済額がどれくらいの割合になるのか、借金返済の負担が大きすぎないかをチェックするために国が定めた基準です。

この割合が25%を超えると黄色信号が出され、公共事業に必要な費用の借入が制限されるなど財政の早期健全化を行うこととなります。

財政用語チェック

歳入と歳出…国または地方公共団体(県、市町村)の一会計年度におけるすべての収入と支出のことです。

歳入の部

市税…市民税や固定資産税など市民や法人が収めた税金
 地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から、地方公共団体の財政状況に応じて交付されるお金
 国・県支出金…事業などの特定の目的の財源として、国や県から交付されるお金
 市債…道路、公園、学校などの公共施設整備のために、市が借り入れるお金
 その他…財産収入、繰入金、寄附金など
 標準財政規模…人口、面積等から算定するその団体の標準的な一般財源の規模であり、うるま市は、およそ269億円。

歳出の部

総務費…市の総括的な事務事業、交通安全、防犯対策等に要するお金
 民生費…児童、高齢者、障がい者などの福祉及び子育て支援に要するお金
 土木費…道路建設や公園の整備、市営住宅の管理などに要するお金
 教育費…幼稚園、小中学校をはじめ社会教育や文化振興などの教育全般に要するお金
 公債費…市債の元金・利子の返済に要するお金
 その他…消防、商工業振興、議会、ごみ処理などに要するお金

◆ お問い合わせ先 ◆ 企画部 財政課 ☎973-6753